



2017年10月13日
 鉄道博物館
 リニア・鉄道館
 京都鉄道博物館

「第3回世界鉄道博物館会議」の開催及び出席について

- 2013年11月に鉄道博物館（埼玉県さいたま市）で第1回、2015年10月にDB博物館（ドイツ連邦共和国・ニュルンベルク市）で第2回がそれぞれ開催された、「世界鉄道博物館会議」の第3回会合が、ボルティモア&オハイオ鉄道博物館（アメリカ合衆国・ボルティモア市）で、11か国・地域から、鉄道をテーマとする13館・団体が参加して開催されます。
- 日本からは、鉄道博物館、リニア・鉄道館、京都鉄道博物館が出席します。
- 鉄道をテーマとする博物館同士の相互理解、情報の共有化等の交流を通じて、鉄道の魅力を高め、鉄道の更なる発展に活かしてまいります。

- 会議名 RAILCONF III 2017
3RD INTERNATIONAL CONFERENCE
OF RAILWAY MUSEUMS
第3回世界鉄道博物館会議
- 開催日 2017年10月24日(火)～27日(金) 4日間
- 参加館 別紙
〔日本の参加館〕
 - ・鉄道博物館（埼玉県さいたま市）
 - ・リニア・鉄道館（愛知県名古屋市）
 - ・京都鉄道博物館（京都府京都市）
- 開催場所 ボルティモア&オハイオ鉄道博物館
（アメリカ合衆国メリーランド州ボルティモア市）
- 主な内容
 - ・スミソニアン協会国立アメリカ歴史博物館館長 ジョン・グレイ氏による講演
 - （予定） ・鉄道博物館に共通の課題や関心事に関する討議



なお、本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、東海交通研究会、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、京都経済記者クラブにお届けしております。

【お問合せ先】
 鉄道博物館 営業部
 TEL 048-651-0088
 リニア・鉄道館
 TEL 052-389-6112
 京都鉄道博物館
 TEL 0570-080-462

これまでの参加館及び今回の参加館等一覧

名称		参加館等 (○印)		
		第1回	第2回	今回
ニューサウスウェールズ 交通歴史協会 (オーストラリア)	Transport Heritage NSW	—	—	○
トレイン・ワールド (ベルギー)	Train World	—	○	—
デンマーク鉄道博物館	Danmarks Jernbanemuseum	—	○	○
フランス鉄道博物館	Cité du Train	○	○	○
ドイツ鉄道博物館	DB Museum	○	○	○
ドイツ博物館	Deutsches Museum	—	○	—
インド大使館 (駐独)	Indian Embassy, Berlin	—	○	—
鉄道博物館	The Railway Museum	○	○	○
リニア・鉄道館	SCMAGLEV and Railway Park	○	—	○
京都鉄道博物館	Kyoto Railway Museum	○※1	○※2	○
九州鉄道記念館	Kyushu Railway History Museum	○	—	—
韓国鉄道博物館	Korea Railroad Museum	○	—	—
国立メキシコ鉄道博物館	Museo de Los Ferrocarrileros	—	○	—
オランダ鉄道博物館	Nederlandse Spoorwegen Museum	—	○	○
ポルトガル国立鉄道博物館	Museu Nacional Ferroviário	—	○	—
ロシア鉄道博物館	Museum of the October Railway	—	○	○
スウェーデン鉄道博物館	Sveriges Järnvägmuseum	—	○	○
スイス交通博物館	Swiss Museum of Transport	○	○	—
旧打狗驛故事館 (台湾)	Takao Railway Museum	—	—	○
英国国立鉄道博物館	National Railway Museum	○	○	—
世界鉄道保存協会 (英国)	World Alliance of Tourist Trams&Trains	—	—	○
ボルティモア&オハイオ 鉄道博物館	Baltimore & Ohio Railroad Museum	○	○	○
合計		10	16	13

※1・※2 京都鉄道博物館開館前のため、「交通科学博物館」及び「公益財団法人交通文化振興財団」として出席